

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12010230

政策目標	3	のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	12	学校教育の充実	事業優先度	A		
単位施策	2	小中学校の教育環境の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	小中学校AED設置事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	12 教育委員会教育振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	整備が必要な台数		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
事業目標	6台		関係例規・法令名	無		
住民参加	無		関係個別計画名	無		
住民協働	無					

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	小中学校へのAED設置(5年 リース 6台)	AED設置(リース料)	AED設置(リース料)	AED設置(リース料)	AED設置(リース料)	AED設置(リース料)	
	事業費(千円)	1,276	628	648	0	0	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	1,276	628	648				
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,259	629	630	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	1,259	629	630				
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) AEDの更新整備	(実施内容等) AEDの配備	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-終了	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	6台	6台	6台	6台	
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	100%	97%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		全体達成率	49%	99%	99%	99%	99%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆				

事業名	小中学校AED設置事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	澤田 朋 朗
		評価者 作成者 職氏名	教育振興課教育総務係長	武 藤 知 憲

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	児童、生徒、教職員	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	AED設置学校数			
【抱える課題やニーズは】	各学校におけるAEDの賃貸借契約が満了となるため更新整備が必要である。		指標(指標計算式/解説)	目 標 値 及 び 実 績 値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	各学校にAEDを配備し、各学校における救急体制の整備を促進する。		①	AED設置学校数	目 標 年 度	平成26 年度
					目 標 値	6 校
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	児童、生徒、教職員の安全を確保するとともに、AEDの操作方法を習得することにより、人命救助できる人材を育成する。		②		実 績 値	6 校
		達 成 度			100.0 %	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	AEDの配備	町内全小中学校にAEDを配備しています。				

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	各学校におけるAEDの配備は救急体制を整備することにより学校の更なる安全が確保されるため必要であると判断します。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	AEDを配備することにより、学校における救急体制の整備を推進するとともに、AEDの操作方法を習得することにより、学校外における人命救助にも役立つものと判断します。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	各学校に同機種のAEDを配備したことにより、操作方法が共有できるとともに、事業費抑制が図られていると判断します。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	各学校に配備しているため、公平性は保たれていると判断します。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
AEDの配備により、児童、生徒、教職員等に対する救急体制が推進されており、計画どおり事業が進んでおります。		

今後の展開方向
(Action)

終了		
AEDは、今後も継続して配備しますが、経常予算への移行により終了とするものであります。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止